



— 企業及び働く皆様へ —

「ゆう活」で夏の生活スタイル変革!!

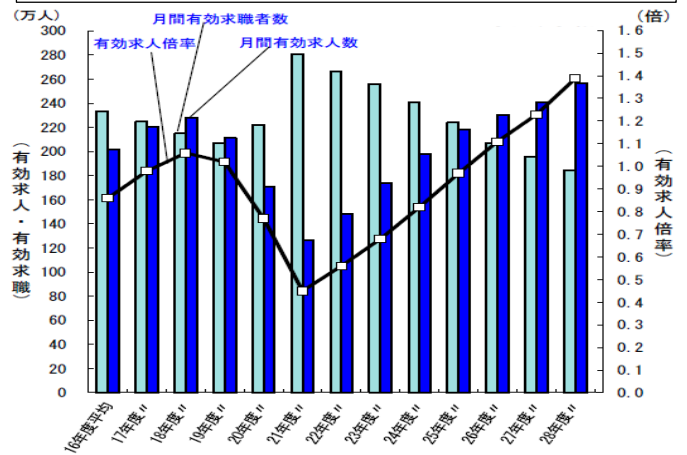
図1. のとおり有効求人倍率は平成 21 年度以来右肩上がりに上昇し、特に平成 26 年度以降は 1.0 倍を超えており、業種を問わず人手不足感が強まっています。

この様な人手不足の状況で、今春の新入社員意識調査において図2. のとおり「残業は多いが、仕事を通じて自分のキャリア、専門能力が高められる職場」と「残業が少なく、平日でも自分の時間が持て、趣味などに時間が使える職場」のどちらかを好むかとの問いに対し、昨年来約 3/4 の方が自分の時間を持てる職場を選択されました。

また、図3. のとおり「『働き方改革』であなたが重要であると思うテーマは何か」という設問で約 1/4 の方が「長時間労働の是正」を選択し、最も多い結果となっています。

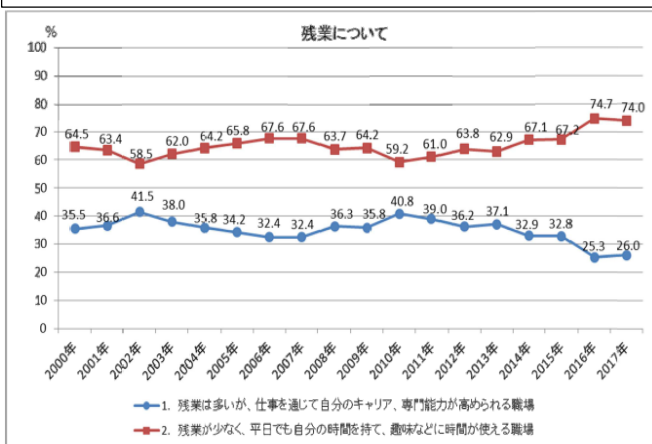
人材確保の観点からも、長時間労働の削減等働き方改革の推進は、重要な要素となっています。

図1. 求人、求職及び求人倍率の推移（全国）



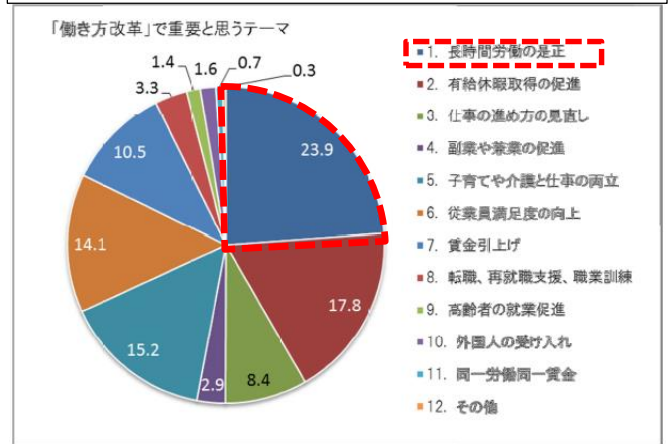
は、

図2. 新入社員 春の意識調査（2017年度）その1



(公財) 日本生産性本部

図3. 新入社員 春の意識調査（2017年度）その2



(公財) 日本生産性本部

働き方改革は、本年 3 月 28 日にまとめられた「働き方改革実行計画」においても「日本経済再生に向けた最大のチャレンジ」と位置づけられるなど、政府全体として重要な課題となっています。

働き方改革の一つの方策として、一昨年より「ゆう活」(「ゆうやく時間活動推進」の略称)を提唱しており、浸透してきていると存じます。[厚生労働省 HP「ゆう活」ページ](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/summer/)をご参考に各企業でもお取り組みください。

「ゆう活」ページ http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/summer/

※ 「ゆう活」等ワーク・ライフ・バランス推進については専門家(働き方・休み方改善コンサルタント)がご相談に応じます → [こちら](#)

<http://fukuoka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/fukuoka-roudoukyoku/12kinto/consaltant.pdf>